



01 自動車を運転する車椅子ユーザーが直面する困難 — ニーズ・問題点 —

▶ ヒアリング・調査から得た車椅子ユーザーの困難

とにかく持ち上げる動作と出し入れが大変。
時間がかかるし疲れます。

歳をとってからは肩が痛くてね。
積み込みやすいような車を選ぶようにしてるよ。

車載装置の存在は知っているけど、
値段が高くて買えません。
車の汚れや傷に関してはもう諦めています。

**脊髄損傷車椅子ユーザーの
車椅子搬入には多くの障壁がある**

01 自動車を運転する車椅子ユーザーが直面する困難 — 病態 —

頸髄損傷 Cervical 胸髄損傷 Thoracic 腰髄損傷 Lumbar

▶ 頸髄損傷者は
上肢・体幹・下肢に力が入りにくい。

▶ 胸髄損傷者は
体幹・下肢に力が入りにくい。

▶ 腰髄損傷者は
下肢に力が入りにくい。

低い場所にある重いものを持ち上げる動作が困難となる

01 自動車を運転する車椅子ユーザーが直面する困難 — ニーズの疫学 —

▶ 車椅子使用脊髄損傷者のうち自動車を運転する人数（年間）

脊髄損傷患者数 ※1
4603人

頸髄損傷患者率 ※1
88%

歩行障害を有する人数 ※2
53%

車椅子利用者運転復帰率 ※3
36%

$4603 \times 0.88 \times 0.53 \times 0.36 = 772人$

全脊髄損傷患者数 頸髄損傷者率 歩行障害率 車椅子利用者運転復帰率

※1 脊髄損傷患者数調査（2015年）の調査を引用。
※2 脊髄損傷患者数調査（2015年）の調査を引用。※1に該当する者の割合（歩行障害）
※3 日本脊髄損傷学会が発表した「車いす利用患者の歩行に関するアンケート」の結果を引用

01 自動車を運転する車椅子ユーザーが直面する困難 — 既存ソリューション —

▶ カロリフト ▶ ウェルライド ▶ チェアトッパー

▶ 高価（カロリフト60万円（工賃込み）、ウェルライド60万円、チェアトッパー190万円）
▶ 設置に車両の改造が必要
▶ 取り付け可能車種が限定される
▶ 使用に時間がかかったり、単独で扱いにくい
▶ 車両に傷や汚れがつく問題までカバーできている製品が少ない

02 提案するソリューション Tourift（ツーリフト）

▶ 製品コンセプト

電動で車椅子を
吊り上げて、
後部座席まで
簡単に移動

Tourift
ツーリフト

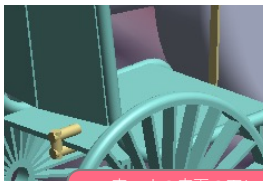
02 提案するソリューション Tourift（ツーリフト）

▶ 使用する上での楽ポイント

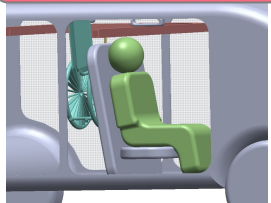
リフトの上昇と共に車いすが畳まれていく！

02 提案するソリューション Tourift (ツーリフト)

▶ 使用する上での楽ポイント



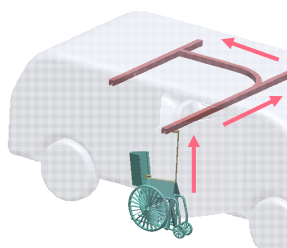
車いすの座面の下に
ジョイント部分をくぐらせる
→ 固定操作が不要！



運転中は吊るされた状態で固定される
→ 引き出す際の手間を削減！

02 提案するソリューション Tourift (ツーリフト)

▶ 製品コンセプト



さらに、、、

アシストグリップに引っかける
→ 簡単に取り付けられて
車の改造不要！

幅の調整が可能
→ 様々な車種に対応！

02 提案するソリューション Tourift (ツーリフト)

▶ 既存ソリューションとの違い

利便性UP ↑ 価格DOWN ↓

車両の改造不要



レンタカーなどでも
ご利用いただけます！

取り付け幅
カスタマイズ可能



様々な車種に
取り付けられます！

低価格&工賃不要

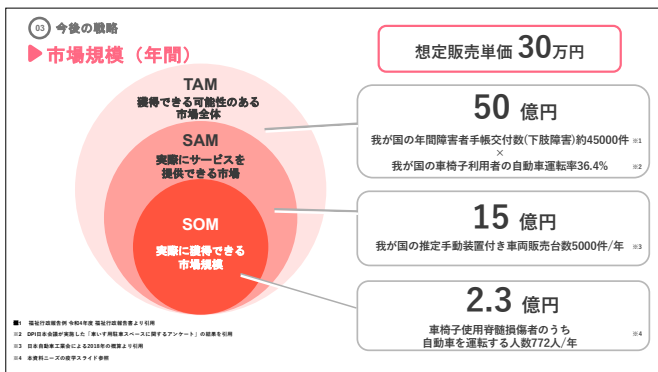
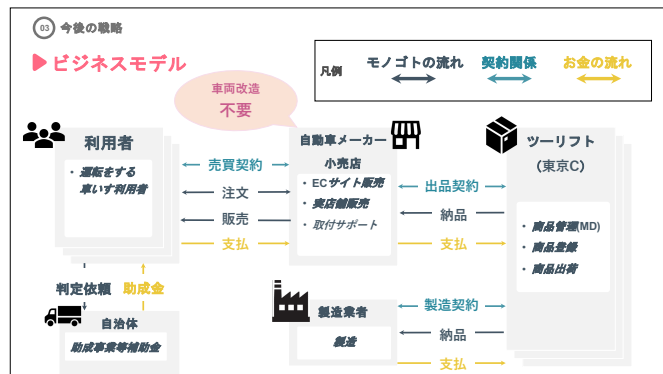


既存製品よりも
大幅なコストダウン！

オプションの
専用カバー



車内に傷がつきにくく
雨の日でも汚れません！



04 Call to Action

東京会場 | Cグループ

▶ チームメンバー



吉井 隼
理学療法士



山本 尚明
理学療法士



大友 悠平
エンジニア



藤田 諒
作業療法士

04 Call to Action

Tourift

誰もが負担なく
自由に移動できる未来を。

